

左手用ハサミ

左手用のハサミには
「柄左手鋏」と「総左鋏」があります。



右手用鋏（標準）



左手用鋏（柄左）



左手用鋏（総左）

柄左手鋏は柄（足）のみが左手用になっていますが、刃は普通の右手用のハサミと同じです。

総左鋏は柄（足）が左手用で、刃も逆のものになっています。
（右手用を鏡で映したように）



右手用鋏（標準）



左手用鋏（柄左）



左手用鋏（総左）



右手用鋏（標準）



左手用鋏（柄左）



左手用鋏（総左）



右手用ハサミを使ってみる

右手用のハサミを左利きの人も使われていると思われませんが、うまく使うには非常に困難で、ちょっとコツがいきます。



右手用鋏を右手で持った場合（通常の持ち方）

自然に刃をコデルことができ、切りやすい。



右手用鋏を無理に左手に持った場合

仕事などで使用される方は長時間、右手用を使用されていますと手が痛くなり作業を続けられる状況ではありません、それと実際使われている方は分かると思いますが、布を切っている時、その切れている部分（切り口）が非常に見にくいのです。





柄左手ハサミを使ってみる



それでは柄左手鉋はどうでしょうか？

結果的には右手用と同じで使いずらいです。柄は左手用なので持ちやすいのですが、刃は右手用と同じで切り口は見にくいです。右手用を無理して使うよりはましですが、ただ今まで右手用を使われてきた方は柄左手鉋（柄のみ左手）を使われた方が自然に使用できると思います。



総左手ハサミを使ってみる



総左鉋は、左利きの人にとって一番自然に使用できることでしょう。

ただ右利き用を使うクセのある人はかえって使いにくいかもしれません。慣れるのは大変かもしれませんが、総左鉋に慣れてしまえば必ず楽です。仕事などで頻繁に使われる方は総左鉋を使って下さい。自然な使用感ですので手も疲れにくく、切り口も良く見えますので非常に作業しやすいです。



総左鉋についての注意事項

総左鉋は柄（足）が左手用で、刃も逆（右手用を鏡で映したように）の仕様になっています。従って持ち手の力の掛け方が逆になり、力の入れ加減によっては生地を挟んでしまい切れない場合があります。そのような場合は反対向きに（親指を押すような感じで）力を加えるようにして下さい。

総左手鉋に慣れると自然な使用感ですので手も疲れにくく、切り口も良く見えますので非常に作業しやすくなります。